

日 時 : 6月24日(日) 曇り後晴れ

参 加 : 中橋(L)、高石、宮本、嶋原、岡本、佐々木(記)

朝方の弱い雨模様になんて心配しましたが、6名のパーティーで金剛の山を楽しんできました。

富田林駅から、8:20発の満席のバスで出発し、水越峠へ。水越峠からカヤンボを通り、モミジ谷道を登る予定でしたが、前日からの雨で足元が悪い為、岡本さんの提案で少し手前の太尾道を登る事にする。雨はやんでいるが、白いガスの中9:00に出発し、綺麗に整備された階段道や根っこの道を歩く。蒸し暑さに、思わず汗が噴き出す。青崩の石筆橋からの道と合流(9:35)。

何回か休憩しながら杉の樹林帯道を歩いて、太尾塞跡の分岐(10:20)。左へは、途中でモミジ谷道やカヤンボ谷の分岐を経て、ダイドレ道のカヤンボの分岐だ。右に直進し、六道ノ辻を目指す。雨に濡れた道は悪く、急登も厳しさを増す(六道ノ辻10:38)。途中からガスが明け、晴れ間が見えてくる。やはり道はぬかるんで悪い所は有るが、風の流れも出てきて気持ちがいい。

大日岳(1094m、10:55)からは眺めは無いが、金剛山頂は間際である。表道・裏道の分岐を、裏道を歩いて葛木神社に着く(11:10)。途中の道からの大和葛城山の眺めは、相変わらずのガスで残念ながら何も見る事は出来なかった。葛木神社でお参りし、転法輪寺まわりで山頂の社務所へ(11:20)。たくさんのハイカーに混じって我々も、格好のテーブルを見つけて昼食にする。飲んで食べて、ゆっくりとしていると、金剛山で名物の「歌うおじさん」が同席している事に気付いて、歌のリクエスト! 楽しい時間を過ごす(11:20~12:50)。

下りはカトラ谷からと話していたが通行禁止の為、分岐を(左方向へ)当初の計画通り、タカハタ道で下山。自生の小さなガクアジサイがたくさん咲いていて綺麗だった。沢筋に入って少し危ない所がある為、全員で慎重にゆっくりと歩く。特に、腰折滝前後に注意! 最後は、車止めゲート手前の道に降りる(14:10)。登山口バス停までは、程ない(14:20着)。14:48のバスで河内長野へ。ちょっと反省会后、全員無事解散。中橋リーダー、岡本臨時道先案内人、ありがとうございました。



下山途中で



山アジサイ



山アジサイ